



はなおか 栄太郎 市政報告

Vol.1 令和4年4月号

令和4年2月定例議会 個人質問(抜粋)

3月7日に個人質問を致しましたので、その一部をご報告いたします。



2020年代の完成を目指して整備中の旭川工区

◎都市計画道路下中野平井線と周辺道路整備について

Q 都市計画道路下中野平井線(旭川工区)の進捗状況と今後の施工スケジュールは

A 下中野平井線(旭川工区)事業費は、全体で99億円という大きな事業であります。まだ用地取得も97%ということで3%がまだできておりませんが、昨年度で約55%を、事業費ベースで進捗しているということでもあります。今年7月には、河川内の橋脚工事はすべて完了し、財源の確保に努めて、2020年代の完成を目指して整備を進めていきたいと思っております。

Q 事業化されている外環状線の市道江並升田線の進捗状況と開通予定は

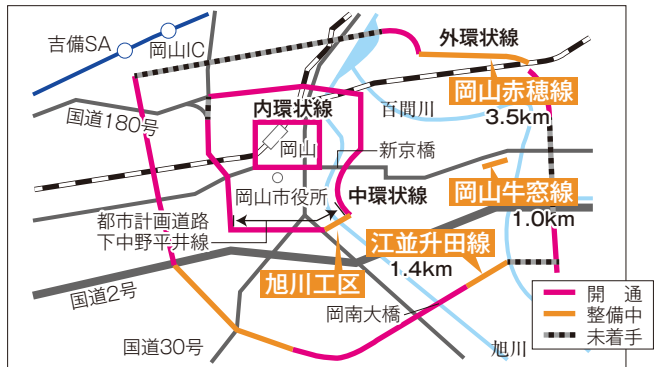
A 外環状線の一部区間として整備している市道江並升田線は、平成27年度に事業に着手し、用地取得に努めているところありまして、用地取得の進捗率は約5%となっております。用地取得や財源確保など、不確定要素があることから、現時点では、具体的な開通時期は見通せておりません。

Q 事業化されている県道岡山牛窓線(3工区)の進捗状況と開通予定は

A 事業費ベースの進捗率は、昨年度末で約83%となっております。これまでに概ね用地取得を終え、水路のボックスカルバート工事などを進めてきておりますが、残りの用地取得に時間を要しているところがございます。引き続き、令和10年度を目標に、暫定2車線で開通できるよう取り組んで参ります。

Q 都市計画道路平井神崎線は、都市計画道路下中野平井線と県道岡山牛窓線(3工区)間が事業化されていません。この区間が開通すれば、主要地方道路岡山牛窓線の朝の慢性的な渋滞の軽減も期待できますが、今後の整備の考え方は

A 平井神崎線は、中区平井1丁目から東区神崎町までの延長約12.8キロメートルの都市計画道路であり、慢性的な交通渋滞が発生している県道岡山牛窓線のバイパス道路として、重要な路線であると認識しております。都市計画道路平井神崎線は、3工区の約1キロメートルと、東区松新町から西大寺中野の約1.8キロメートルの整備を進めており、これら事業中区間の進捗や事業効果の発現状況を踏まえながら、残りの区間の着手時期等を検討して参りたいと考えております。



Q 岡南大橋は、外環状線の一部であり、現在、2車線での通行となっておりますが、特に岡山市中区側では、朝夕のみならず日中でも慢性的な混雑が見られます。この混雑解消に向けての考え方は

A 中区側の岡南大橋東詰の交差点では、昨年10月に実施した交通量調査では、夕方側のピーク時に、東向きの約1.8キロメートルの渋滞を確認しております。この渋滞は、交差点が近接していることが要因の一つではないかと考えられますが、改めて渋滞要因を調査し、どのような対策ができるか検討して参りたいと考えております。



渋滞解消が期待される岡南大橋東詰交差点



◎道路修繕について

Q 歩行性向上のため、歩道部の水たまりの解消や幅員、高さ、勾配、段差構造などを考慮した歩道のバリアフリー化など、歩行者が安心して快適に通行できる対策について

A 歩道のでこぼこなど、歩行に支障となる路面の不具合についても、パトロールや通報などにより、適宜、修繕を行っております。起状の多いマウンドアップの歩道については、沿道宅地や既設の道路構造物との兼ね合いから、改善できないところもありますが、可能な範囲で改修を進めております。

令和3年11月定例議会 個人質問(抜粋)

12月10日に個人質問を致しましたので、その一部をご報告いたします。

◎プラスチック資源循環促進法について

Q 多様な物品に使用されているプラスチックに関し、包括的に資源循環体制を強化し、製品の設計からプラスチックの廃棄物の処理までに関わるあらゆる主体におけるプラスチック資源循環等の取組を促進するための措置を講じようとするプラスチック資源循環促進法が今年6月に国会で成立し、令和4年度から施行予定となっておりますが、岡山市もスピード感を持って進めていく必要があると思えますが

A 岡山市では、容器包装プラスチックに加え、製品プラスチックを含めたプラスチック使用製品の資源回収について準備を進めています。現在、国がプラスチック資源の分別基準を作成しているところであり、これを基に岡山市の分別基準を策定していく予定で、令和5年度中の開始に向けてスピード感を持って進めてまいります。

◎災害時避難所開設、運営について

Q 避難場所には指定職員が2名派遣され、開設、運営に当たりますが、このコロナ禍で体調不良者への対応など、対応する業務も増え、また内容も難しくなっていると思えますが、指定職員2名で円滑に避難場所を開設、運営ができるのか

A 避難場所には指定職員2名を配置しておりますが、新型コロナウイルス感染症への対応等で業務量が増加していることから、連合町内会の役員の皆様方に避難所の運営に協力していただくようお願いしているところでございます。

Q 避難所になる小・中学校、公民館の備蓄物資の主な備蓄場所や内容等の備蓄状況及び賞味期限を迎えようとする備蓄物資はどのように活用されているのか

A 現在、避難場所となる小学校、中学校には、プレハブ倉庫や空き教室などにアルファ化米、飲料水、毛布などを備蓄しております。公民館は敷地や施設規模が小さいものが多く、スペースを確保できた施設から備蓄を進めております。賞味期限が迫った備蓄食料は、防災訓練などで活用するとともに、フードバンクなどに提供しております。

Q 大地震などの大規模災害が、発生した場合行政はどのように物資の支援を行うのか、また岡山市の備蓄物資が不足した場合、国等からの支援物資が届くまでどのくらいの時間がかかるのか

A 岡山市ではおおむね3日分の物資を備蓄しております。避難場所においては、まず各施設にある備蓄物資を使用することとしており、これがない施設や不足する場合には集中備蓄倉庫から配送いたします。また、国などからの支援物資は、発災後4日目には届くことになっております。

◎個別避難計画について。

Q 災害時の避難に支援が必要な方一人一人について、誰が支援するのか、どこの避難所に避難するのか、避難するときどのような配慮が必要になるかなどあらかじめ記載した個別避難計画が、令和3年の災害対策基本法の改正により、避難行動要支援者について個別避難計画を作成することが市町村の努力義務とされましたが、本市の個別避難計画の作成率はどのようになっているのか

A 個別避難計画の作成は、現在避難行動要支援者名簿に掲載された6,844人のうち421人で、6%となっております。個別避難計画は今年5月の災害対策基本法の改正により自治体に作成が努力義務化されましたが、従前は避難行動要支援者名簿の作成と配布は求められていたものの、個別避難計画の作成は望まれるとされていたことから進んでおりません。今年度から鋭意作成に取り組んでいるところでございます。

●議会質問の詳細は、岡山市議会のホームページをご覧ください。

関連道路整備令和4年度当初予算 都市計画道路下中野平井線(旭川工区) 7億2530万円
県道岡山牛窓線(3工区) 1000万円
市道江並升田線 1億9421万円

主な令和4年度当初予算

○活力ある農業振興 2億53百万円
○バリアフリー推進事業(移動等円滑促進) 30百万円
○保育士確保対策 4億59百万円
○放課後児童健全育成事業 29億13百万円
○子ども医療費助成事業 22億31百万円
○困難を抱える子どもとその家庭への支援 10億98百万円
○児童虐待防止推進 11百万円
○ヤングケアラーへの支援 32百万円
○女性が輝くまちづくり事業 16百万円
○魅力ある授業づくり推進事業 2億66百万円

○夜間中学設立準備検討事業 1百万円
○GIGAスクール構想によるICT活用支援事業 2億61百万円
○在宅医療介護連携推進事業 41百万円
○障害者基幹相談支援センター事業(再掲) 78百万円
○障害者就労支援事業 23百万円
○地域防災力強化事業 3億13百万円
○道路施設の長寿命化事業 14億64百万円
○消防団員処遇改善事業 3億10百万円

●令和4年度当初予算の詳細は、岡山市のホームページをご覧ください。